



東証スタンダード市場
証券コード 9265



2024年 5月期 決算説明資料

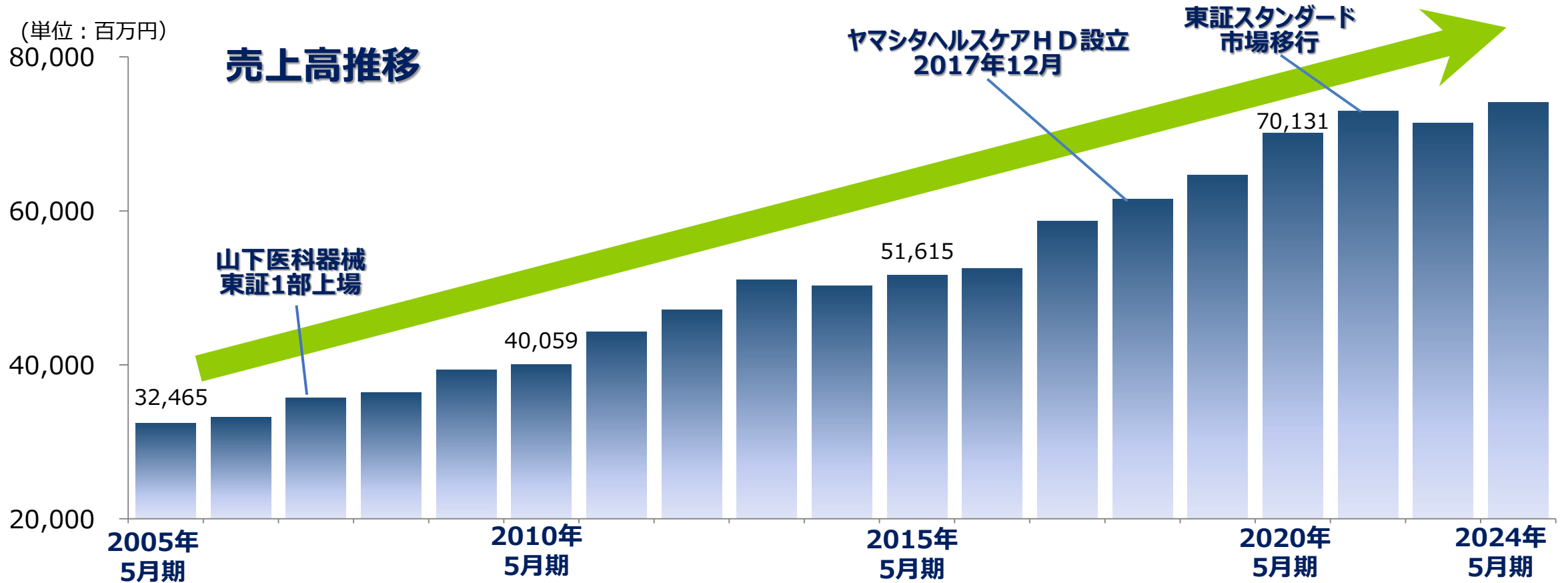
連結累計期間：2023年6月1日～2024年5月31日

2024年 7月 22日

ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社



会 社 名	ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社
本 社 所 在 地	福岡市博多区下川端町 2 番 1 号 博多座・西銀ビル10階
資 本 金	4億9,402万5,000円
事 業 内 容	医療機器および関連商材の販売を主とするグループ事業会社 9社の経営管理、およびそれに付帯する業務
代 表 者	代表取締役 執行役員 社長 山下尚登
上 場 市 場	東京証券取引所 スタンダード市場
証 券 コ ー ド	9265
決 算 期	5月





『地域のヘルスケアに貢献する』








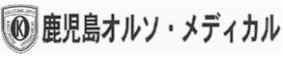

当社グループの使命は、ヘルスケア領域に関わる一員として、医療が安心・安全に、患者様や要介護者などへ届けられるよう、お客様である医療機関をはじめとするヘルスケア業界をサポートすることです。当社グループは、「専門性」と「総合性」を兼ね備えたヘルスケアサポート企業となり、地域のヘルスケアの発展に貢献します。



【グループ概要】



ヤマシタ ヘルスケア ホールディングス YAMASHITA HEALTH CARE HOLDINGS, INC.

	山下医科器械株式会社	医療機器卸売/医療IT/設備設計・施工・メンテナンス/消耗品管理・物流
	株式会社イーピーメディック	医療器具製造・販売/整形外科インプラントの製造・販売
	株式会社トムス	医療機器卸売/透析関連機器メンテナンス/画像診断機器販売
	株式会社アシスト・メディコ	経営・事業承継支援/医療介護に関するコンサルティング/セミナー開催
	株式会社イーディライト	病院向け予約ソリューション/ホームページ制作/ネットワークセキュリティ販売
	エムディーエックス株式会社	RPA・DX技術関連製品・サービスの提供/介護施設、在宅向け製品販売等
	株式会社クロスウェブ	ネットワーク構築/ソフトウェア受託開発/システム保守サービス
	株式会社鹿児島オルソ・メディカル	整形外科分野に特化した医療機器販売/関連消耗品の販売
	マイクロソニック株式会社	超音波に関する受託研究開発/超音波を用いた医療機器の開発・販売



山下医科器械株式会社（長崎県佐世保市）

当社グループの中核となる事業会社です。MRIやCTなどの画像診断装置、内視鏡システム、手術台、无影灯、電気メスなどの手術機器から整形インプラント、各種カテーテル、ディスプレイ医療材料までハードだけではなく、院内物品管理システム、電子カルテ・医事・オーダリング医療情報システムなどのシステム、更に医療機器のメンテナンスや医療廃棄物収集運搬、新規開業支援などのサービスに至るまで、幅広いニーズにお応えできるサービス体制を構築しています。

2026年8月に「創業100周年」を迎えます。



yamashita
TOTAL MEDICAL SUPPORT



株式会社トムス (福岡市)

同社は、透析分野に強みを持つ事業会社です。主に、透析装置・透析消耗品、腹膜透析・結石破碎装置、ステントといった医療機器の販売、およびメンテナンスを中心に事業を行っています。

医療機関の治療の安全と経営に貢献できる提案、新しい商品・技術の情報提供など、お客様のニーズにお応えできるよう活動しています。





株式会社鹿児島オルソ・メディカル（鹿児島市）

医療器械の中でも、整形外科分野に特化したサービスを提供する事業会社です。

鹿児島県内を中心に国公立病院からクリニックまで、高いクオリティの商材を提供し、長年築き上げた豊富な知識と情報ネットワークを活かし、地域に密着したサービスを展開しています。



鹿児島オルソ・メディカル



株式会社アシスト・メディコ (福岡市)

医療・介護機関の経営に関するコンサルティングに特化した事業会社です。この他、介護施設の建築、M&A、事業継承に関するコンサルティングも得意としています。医療・介護機関が抱える複雑化した問題に対して、より良い経営確立のために支援を行っています。

- 医療機関、介護機関の各種経営に関するサポート
- 医療機関、介護機関の経営再建
- M&A、事業継承のサポート 他





株式会社イーピーメディック (福岡市)

医療機器の製造販売および海外製品の輸入を目的とした事業会社です。主に整形外科領域の体内埋没材料（インプラント）を自社にて企画・製造委託・輸入・販売を行っています。同社では日本人に適した各種インプラントの開発を進め、更なる手術手技の簡略化と適合性により、患者様のQOL向上に貢献いたします。海外からの輸入を強化することで製品ラインナップを強化し、積極的な事業拡大を目指します。



アレクサネイルシステム
豊富なサイズバリエーションにて
様々な症例への対応可能





マイクロソニック株式会社 (東京都)

超音波を用いた医療機器、周辺機器の開発、販売を提供する事業会社です。超音波診断装置の研究開発を50年以上続けており、超音波を全身の検査や診断に使えるように医療機器や周辺機器の開発を進めています。現在、これらの技術を活かして、女性の心身の負担を軽減する乳がん検査デバイスの開発を進めており、間もなく上市を予定しております。





エムディーエックス株式会社（福岡市）

医療現場の業務効率化や自動化をサポートすることで、「ヒトが人にしかできない仕事に専念できる環境の実現を支援する」ことを目的とした事業会社です。

医療ヘルスケア領域でのDXをITやRPA技術で支援し、医療従事者がより業務に専念できる環境づくりを構築します。





株式会社イーディライト (福岡市)

医院向け顧客関係管理サービス「EPARK」事業の取次をはじめ、ネットを活用したサービスを提供する事業会社です。地域の医院をご紹介するポータルサイトの運営や、ホームページ制作からその後の運営サポート、予約台帳システムの運用ノウハウを提供する等、インターネットを活用し簡単に医院検索、受付が可能なサービスを提供しています。





株式会社クロスウェブ (福岡市)

ネットワーク及びシステムインフラ構築事業を主体とし、近年は病院のネットワーク及びシステムインフラ構築や保守に注力し、医療機関に密着したきめ細かなサービスを提供する事業会社です。

当社グループと親和性が高く、今後もヘルスケア領域を含む社会全体のDX化に貢献することが見込まれます。



ネットワークインテグレーション

基幹業務、ネットワーク構築、セキュリティ管理、情報支援等のトータルソリューション。

- 社内ネットワークの構築
- インターネット環境の構築
- 医療、公共機関向けのネットワーク構築
- VPNの構築

[導入実績はこちら](#)

コンピュータ機器システム保守サービス

コンピュータ機器のシステム保守サービス等。

- 各社Windowsサーバ
- 各社Linuxサーバ
- 各社Network機器

ソフトウェア設計開発

WEB系・業務系システム開発、データベース構築等。

- 各装置のデータ収集及び制御
- 映像配信管理システム

[旧製品はこちら](#)

WEBデザイン

Webデザイン、ホームページ制作、運営代行サービス等。

- WEBデザイン
- ドメイン取得代行
- サーバハウジング
- Flash、CGI、JavaScript等の制作



1. 2024年5月期 業績の概況

2. 事業分野別概要

3. 決算概要

4. 新中期経営計画

5. 長期ビジョン

6. 今期の見通し

7. 当社グループに関するご案内



当社は「**収益認識に関する会計基準**」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を、2022年5月期より適用しております。

2021年5月期以前の売上高数値は、旧会計基準に基づいた数値によるもので、2022年5月期以降の売上高数値と単純に比較することができません。この点ご理解いただきますよう、お願いいたします。

なお、営業利益、経常利益、および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当該会計基準等適用による影響はございません。



【通期 連結業績 (2024年5月期)】



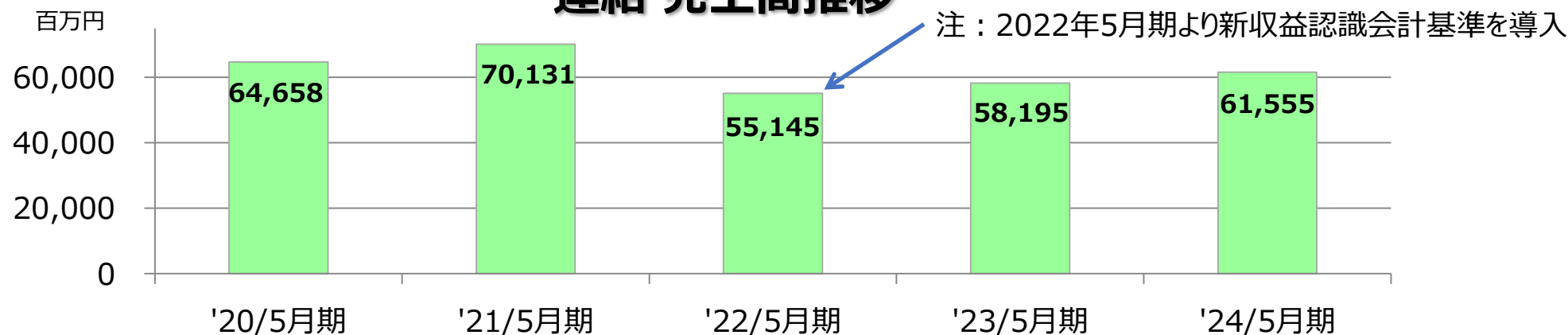
売上高は順調に推移しましたが、給与や求人関連費といった人件費、保険料や修繕費といった設備管理費を含む販管費等の増加により、営業利益および経常利益は減益となりました。

(単位：百万円)

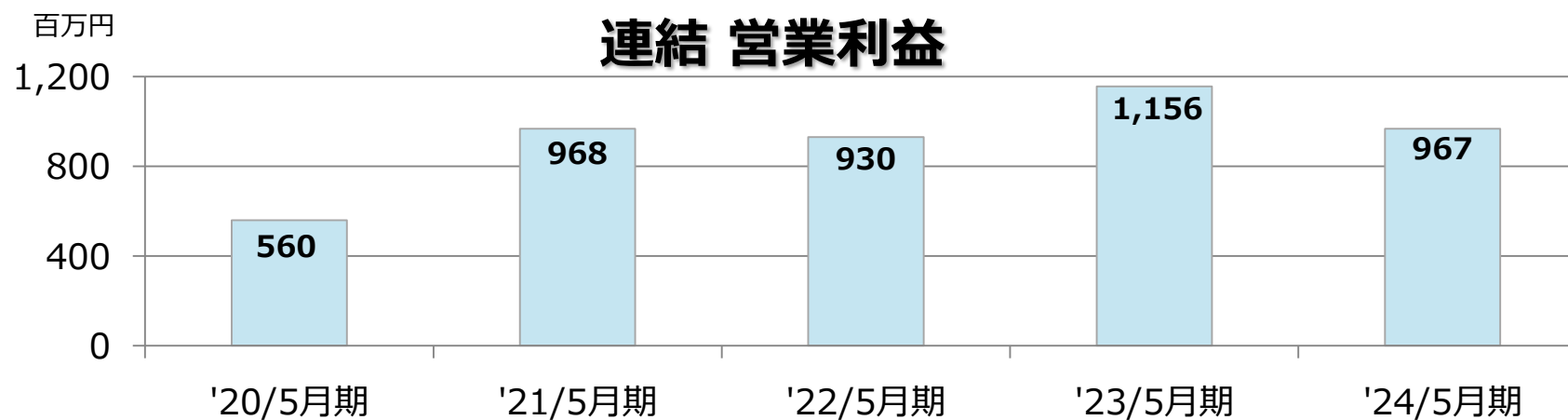
通期連結業績	2023年5月期	2024年5月期	増減額	前年同期比
売上高	58,195	61,555	3,360	105.8%
売上総利益	8,048	8,497	449	105.6%
販売費及び一般管理費	6,892	7,530	638	109.3%
営業利益	1,156	967	-189	83.7%
経常利益	1,206	1,020	-186	84.6%
当期純利益	219	580	361	264.8%



連結 売上高推移

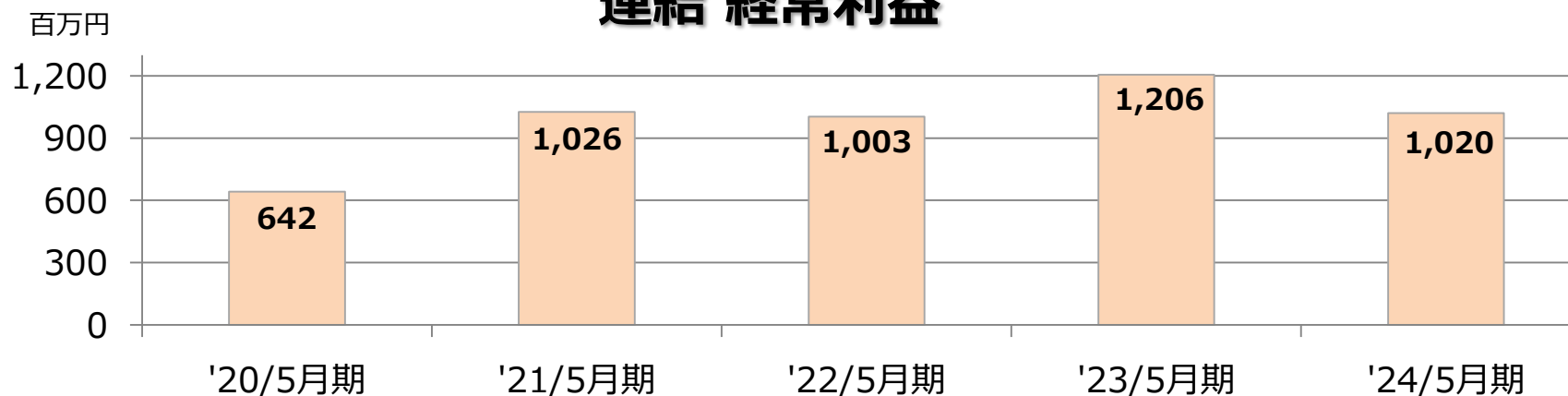


連結 営業利益

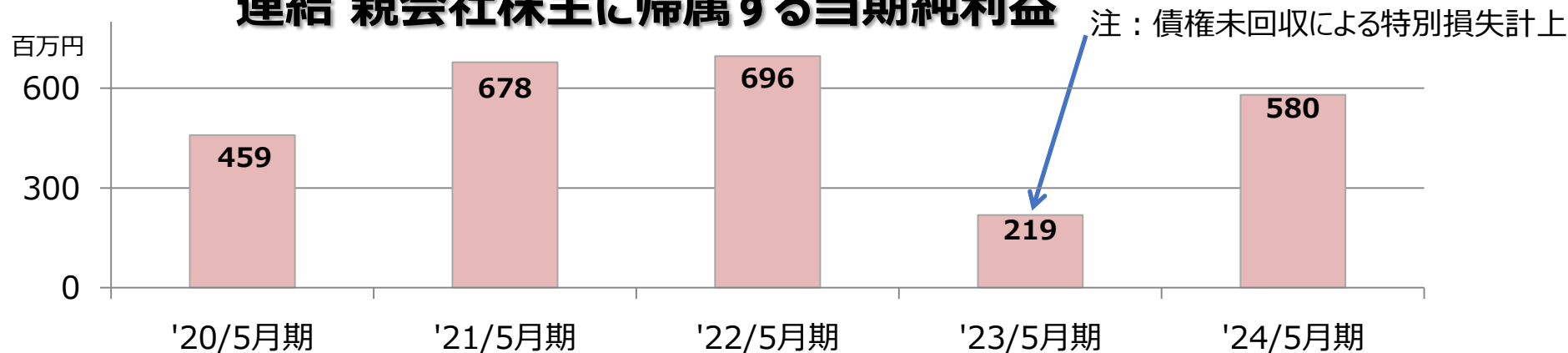




連結 経常利益

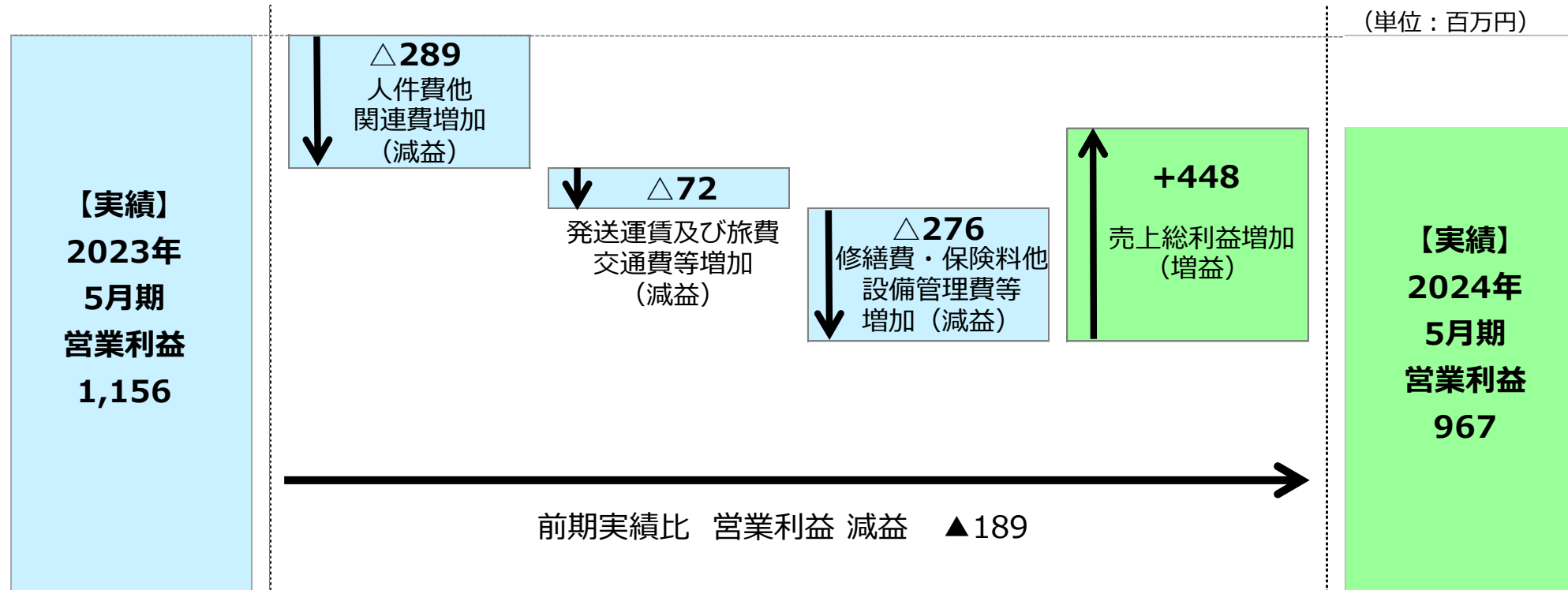


連結 親会社株主に帰属する当期純利益





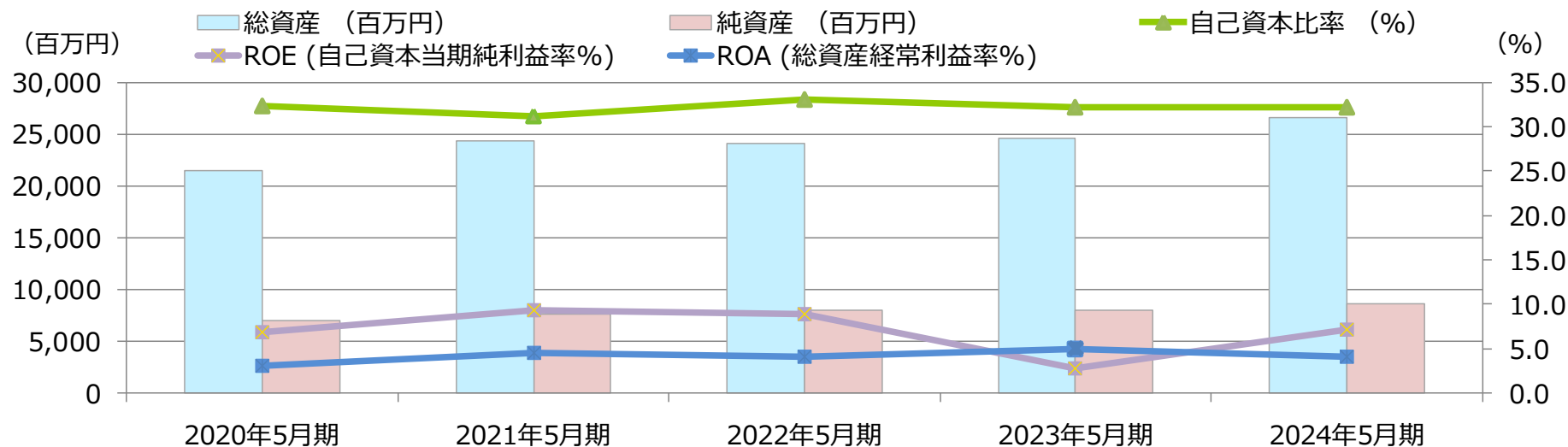
▶ 前期比 営業利益 減益の要因





連結貸借対照表推移

連結貸借対照表推移	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期
総資産（百万円）	21,425	24,322	24,086	24,568	26,557
純資産（百万円）	6,938	7,579	8,005	7,924	8,556
自己資本比率（%）	32.4	31.2	33.1	32.2	32.2
ROE（自己資本当期純利益率%）	6.9	9.3	8.9	2.8	7.1
ROA（総資産経常利益率%）	3.1	4.5	4.1	5.0	4.0





1. 2024年5月期 業績の概況

2. 事業分野別概要

3. 決算概要

4. 新中期経営計画

5. 長期ビジョン

6. 今期の見通し

7. 当社グループに関するご案内



【事業分野別の販売実績】



各セグメント業績

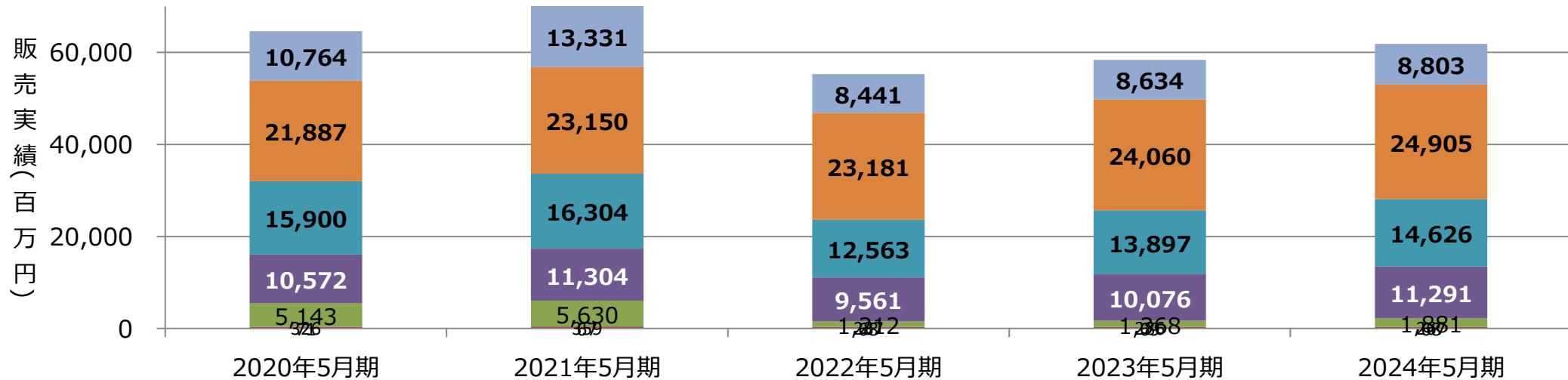
セグメント区分		2023年5月期 連結累計期間		2024年5月期 連結累計期間		増減額 (百万円)	前年同期比 (%)
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
① 医療機器 販売業	一般機器分野	8,634	14.8%	8,803	14.3%	168	102.0%
	一般消耗品分野	24,060	41.3%	24,905	40.4%	844	103.5%
	低侵襲治療分野	13,897	23.9%	14,626	23.8%	729	105.2%
	専門分野	10,076	17.3%	11,291	18.4%	1,214	112.1%
	情報・サービス分野	1,368	2.4%	1,881	3.1%	513	137.5%
小計		58,037	99.7%	61,507	99.9%	3,470	106.0%
②医療機器・製造販売業		286	0.5%	267	0.4%	△ 19	93.4%
③ヘルスケアモール事業		69	0.1%	68	0.1%	△ 1	98.4%
④セグメント間取引		△ 197	-0.3%	△ 287	-0.5%	△ 90	—
合計 ①+②+③+④		58,195	100%	61,555	100%	3,360	106.0%

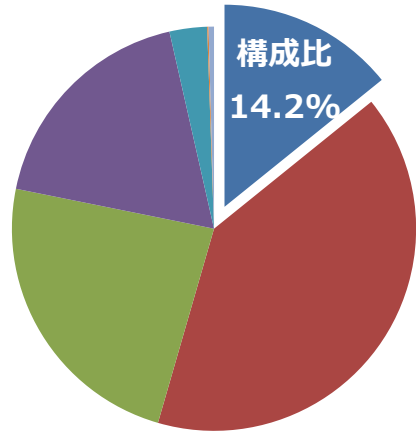


【各事業分野別販売実績】



- 一般機器分野：治療用機器、CT、MRI、モニタリング 等
- 一般消耗品分野：手術用医療材料、輸液・輸血関連、医療用消耗品 等
- 低侵襲治療分野：内視鏡本体、IVE、消化器用・血管内治療用カテーテル・ステント 等
- 専門分野：人工関節類、検査機器、眼科備品、皮膚・形成備品、透析関連品 等
- 情報・サービス分野：医療ガス、設備工事、医療廃棄物収集、医療用ICT機器、メンテナンス 等
- 医療機器製造・販売業：整形外科用インプラント製造販売（グループ開発製品）
- ヘルスケアモール事業：運営医療モール賃料収入



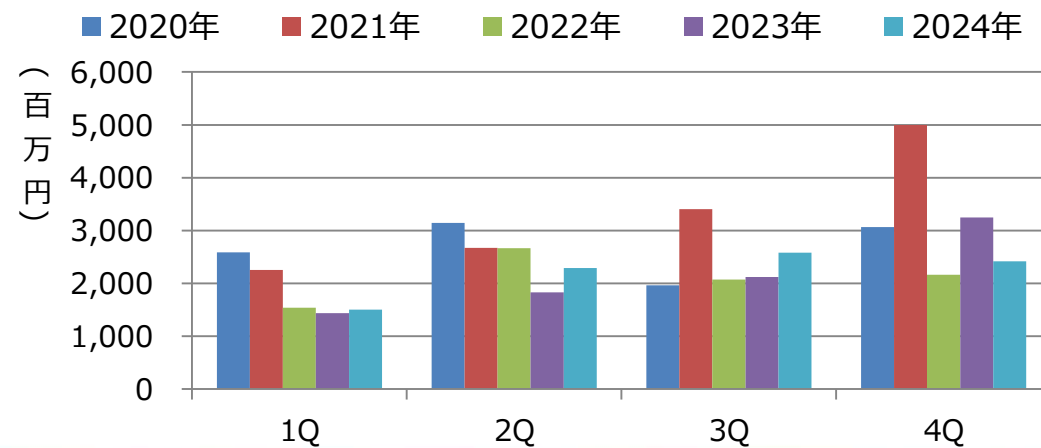


【一般機器分野】

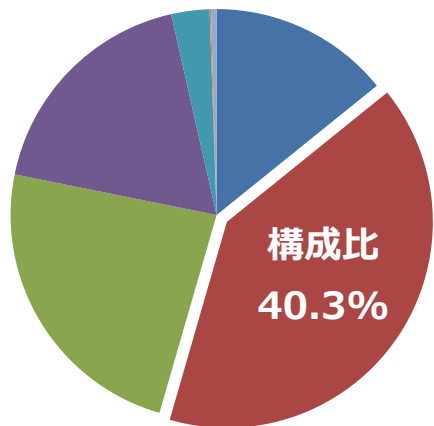
- 売上高： 88億 3百万円
- 前期比： 2.0%増

一般医療機器やMRI・CT等の画像診断機器、放射線診断装置および超音波診断装置等の売上による増加

■ 一般機器の売上高推移（四半期別）



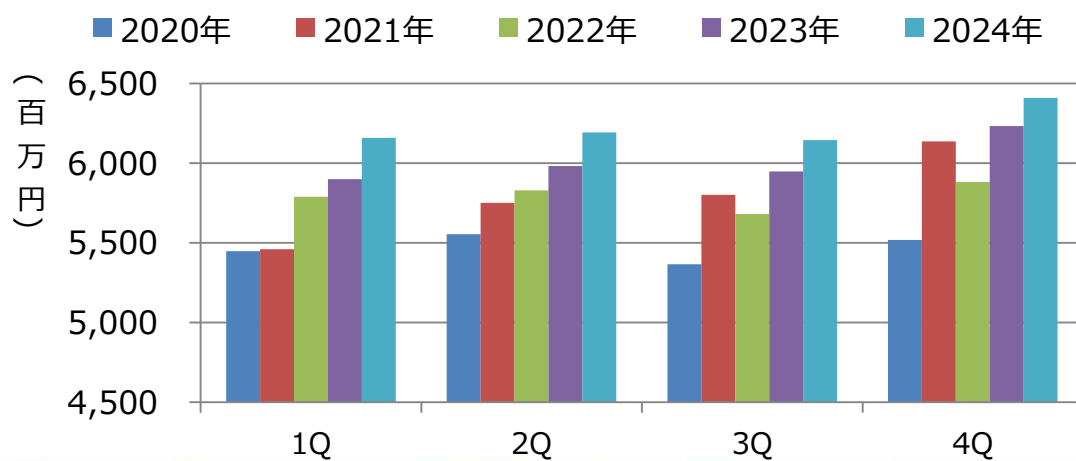
【一般消耗品分野】



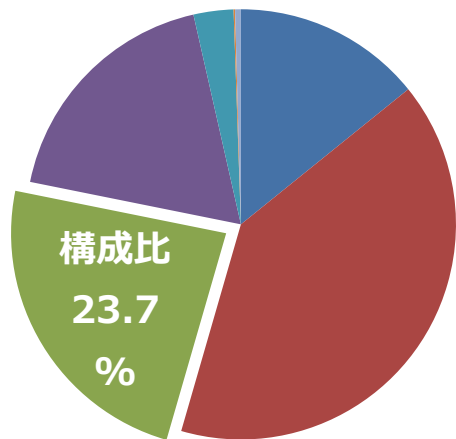
- 売上高： 249億 5百万円
- 前期比： 3.5%増加

汎用消耗品、感染対策消耗品および手術関連消耗品等の売上による増加

■ 一般消耗品の売上高推移（四半期別）



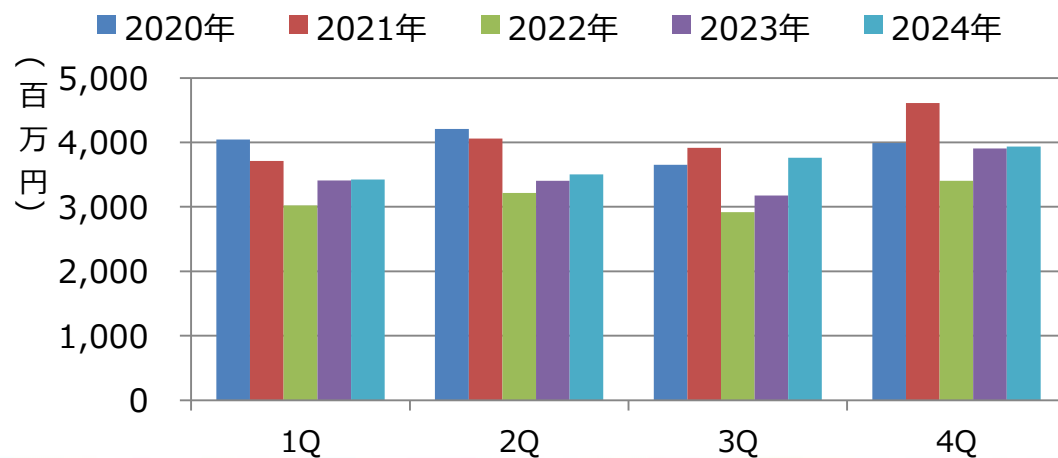
【低侵襲治療分野】

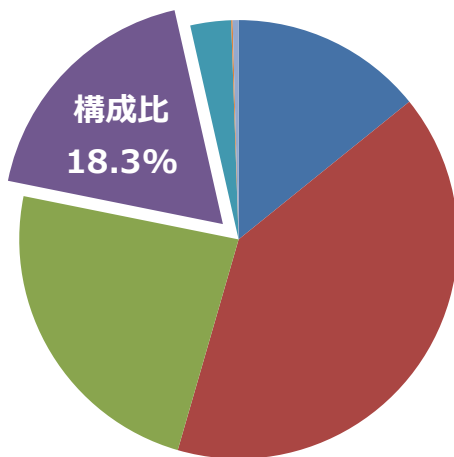


- 売上高： 146億26百万円
- 前期比： 5.2%増

消化器内視鏡や腹腔鏡内視鏡手術システム等のサージカル備品、血管内治療、関連消耗品の売上による増加

■ 低侵襲治療分野の売上高推移（四半期別）



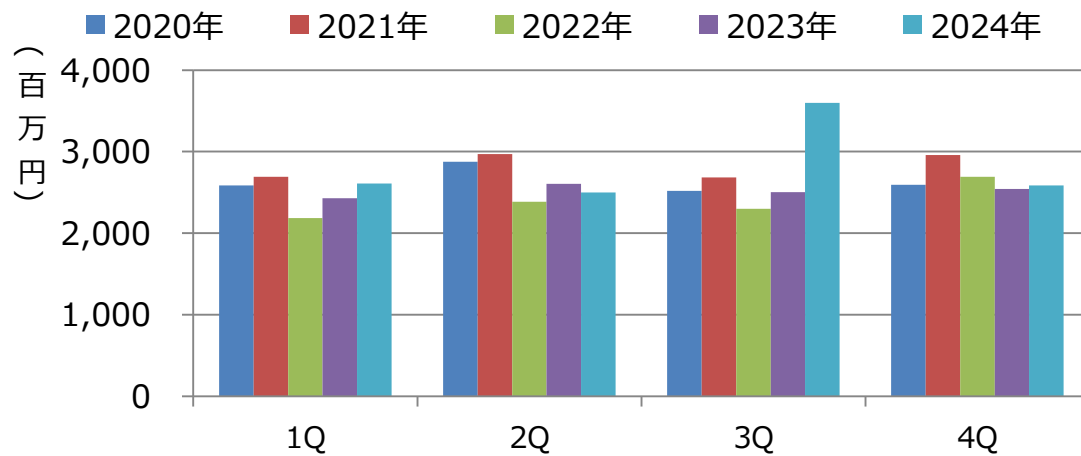


【専門分野】

- 売上高： 112億91百万円
- 前期比： 12.1%増

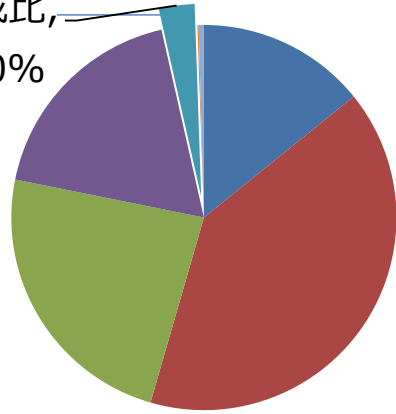
人工関節や骨折治療材料等の整形消耗品、及び透析機器等の売上による増加

■ 専門分野の売上高推移（四半期別）





構成比,
3.0%

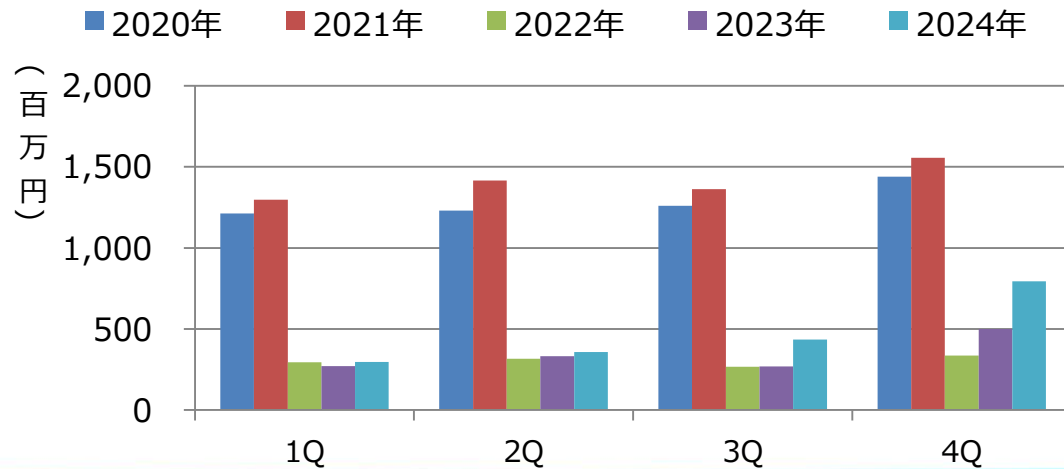


【情報・サービス分野】

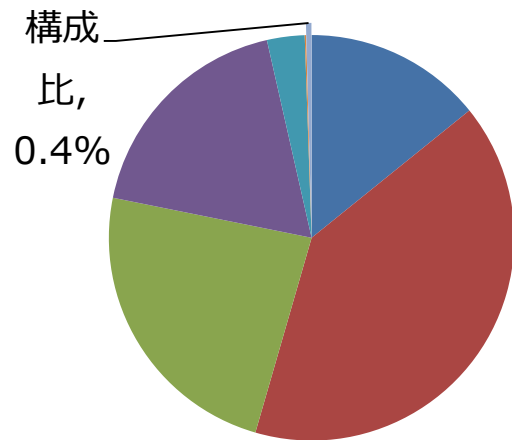
- 売上高： 18億81百万円
- 前期比： 37.5%増

電子カルテシステムといった医療用ICT機器、医療ガス、設備工事、メンテナンスサービス、医療廃棄物収集等の売上による増加

■ 情報・サービス分野の売上高推移（四半期別）



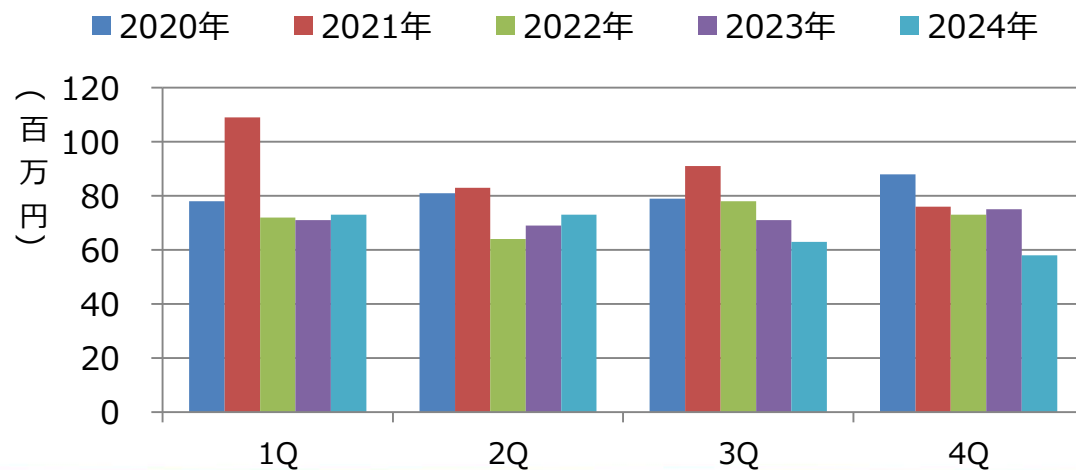
【医療機器製造・販売業】

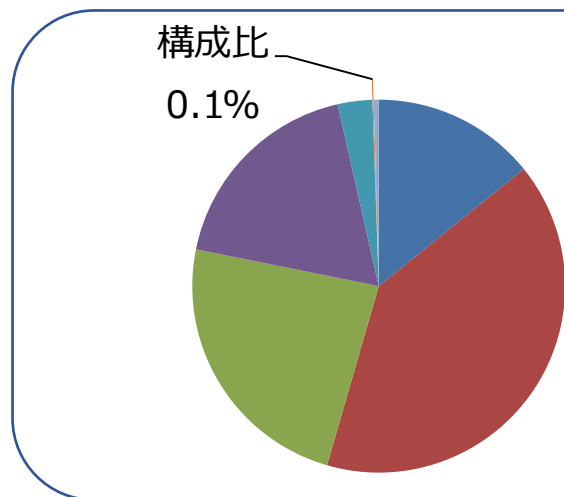


■ 売上高： 2億67百万円
 ■ 前期比： 6.6%減

グループ開発製品である整形外科用インプラントの製造・販売

■ 医療機器製造・販売業の売上高推移（四半期別）



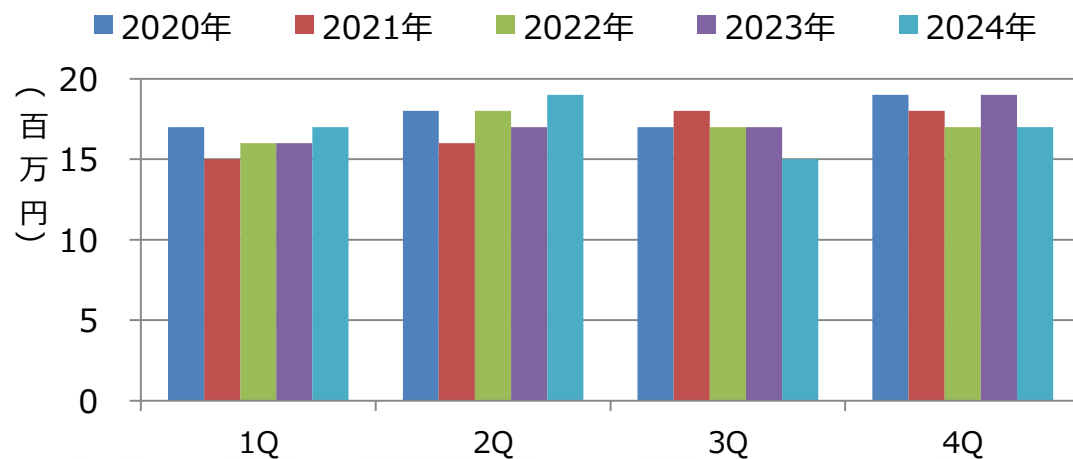


【ヘルスケアモール事業】

- 売上高：68百万円
- 前期比：1.3%減

東手城ヘルスケアモール（広島県福山市）運営による賃料収入

■ヘルスケアモール事業の売上高推移（四半期別）





1. 2024年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
- 3. 決算概要**
4. 新中期経営計画
5. 長期ビジョン
6. 今期の見通し
7. 当社グループに関するご案内



【連結損益計算書】



(百万円)

連結損益計算書	2023年5月期	2024年5月期	増減額	対前年比 (%)
売上高	58,195	61,555	3,360	105.8%
売上総利益	8,048	8,497	449	105.6%
販売管理費	6,892	7,530	638	109.3%
営業利益	1,156	967	-189	83.7%
経常利益	1,206	1,020	-186	84.6%
税引前当期純利益	635	871	236	137.2%
親会社に帰属する当期純利益	219	580	361	264.8%
EPS 一株当たり当期純利益 (円)	85.83	227.88	142.1	265.5%
ROE 自己資本当期純利益率 (%)	2.8	7.1	4.3	253.6%



【連結貸借対照表】



(百万円)

連結貸借対照表	2023年5月期		2024年5月期	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
流動資産	19,516	79.4%	20,887	78.6%
現金・預金	5,825	23.7%	5,300	20.0%
売上債権	10,492	42.7%	11,610	43.7%
棚卸資産	2,891	11.8%	2,974	11.2%
固定資産	5,052	20.6%	5,670	21.4%
有形固定資産	3,326	13.5%	3,147	11.8%
投資有価証券	1,015	4.1%	1,267	4.8%
長期貸付金	—	—	351	2.0%
貸倒引当金	-612	-2.5%	-597	-2.2%
総資産	24,568	100.0%	26,557	100.0%
流動負債	16,139	97.0%	17,584	97.7%
支払手形・買掛金	7,793	46.8%	8,282	46.0%
電子記録債務	6,686	40.2%	7,640	42.4%
固定負債	504	3.0%	416	2.3%
負債合計	16,644	100.0%	18,000	100.0%
純資産合計	7,924		8,556	
負債及び純資産合計	24,568		26,557	



【連結キャッシュ・フロー計算書】



(百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書	2023年5月期	2024年5月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,166	878
税引前当期純利益	635	871
売上債権の増減額 (△は増加)	1,414	△ 439
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 205	△ 46
仕入債務の増減額 (△は減少)	577	603
法人税等の支払額	△ 252	△ 598
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 107	△ 1,067
有形固定資産の取得による支出	△ 45	△ 74
貸付による支出	—	△ 350
連結範囲の変更を伴う子会社取得による支出	—	△ 605
関係会社株式取得による支出	△ 30	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 209	△ 335
自己株式の取得	—	△ 165
配当金の支払額	△ 209	△ 122
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,849	△ 524
現金及び現金同等物の期末残高	5,825	5,300



1. 2024年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
3. 決算概要
- 4. 新中期経営計画**
5. 長期ビジョン
6. 今期の見通し
7. 当社グループに関するご案内



【基本方針】

～積極的投資とグループ機能向上による バランス経営の実行～

私たち、ヤマシタヘルスケアグループは、「人的資本」を中心とした積極的な成長投資のもと、共に働く人々にとって魅力ある組織を目指します。



【主要施策】

2027年5月期に向けた新中期経営計画では、次のような「主要施策」を掲げ、「経営目標」の達成に向けて邁進します。

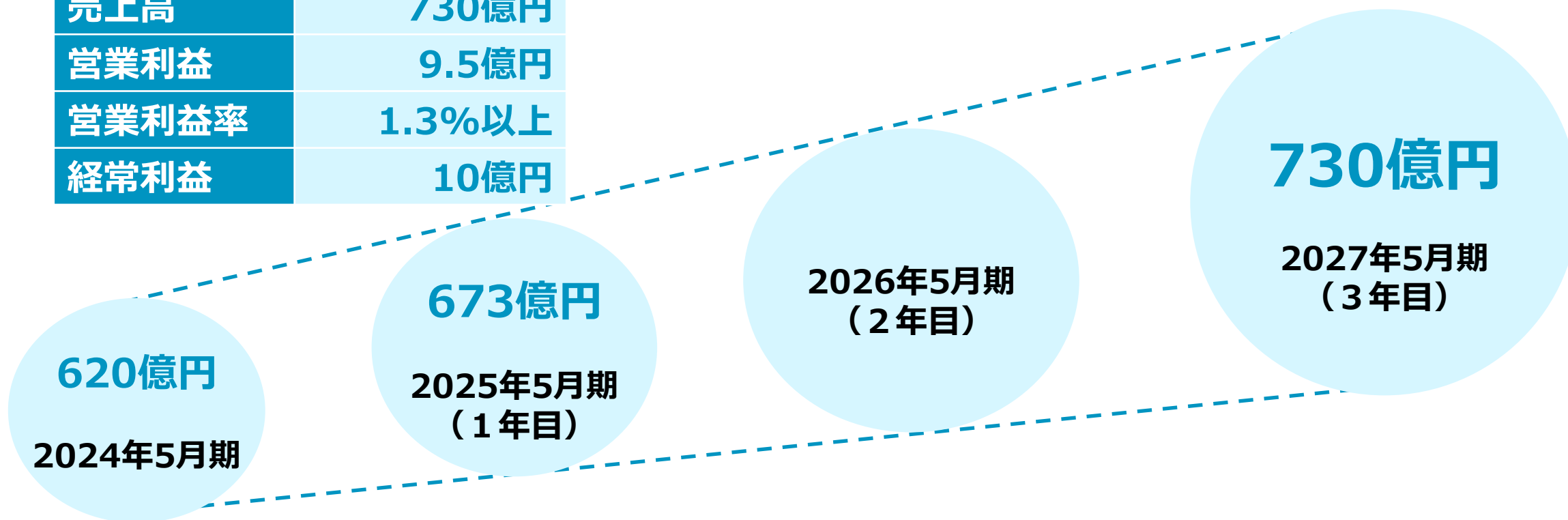
- (1) 人的資本経営の推進
- (2) グループ間連携による新たな価値の創出と生産性向上
- (3) 持続的成長に向けた投資の実施
- (4) ESG経営による地域社会への貢献
- (5) ガバナンス最優先の風土醸成
- (6) グループ本社としての体制確立の一体化と戦略機能の強化



【経営目標】

2027年5月期経営目標	
売上高	730億円
営業利益	9.5億円
営業利益率	1.3%以上
経常利益	10億円

本計画最終年度となる「2027年5月期の経営目標」





『資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応』について

当社は、資本コストを上回る資本収益性を確保するという観点から、新中期経営計画の主要施策への取り組みを通じて、当社株主資本コスト 6.28% を超えるROE（自己資本当期純利益率）、そしてPBR（株価純資産倍率）の向上を図ります。

※当社株主資本コスト 6.28% = リスクフリーレート（1%） + 当社β値（0.88） × リスクプレミアム（6%）

企業価値向上に向けた経営目標

経営指標	目標
ROE（自己資本当期純利益率）	10%以上
PBR（株価純資産倍率）	1.0倍以上
配当性向（株主還元）	30%以上

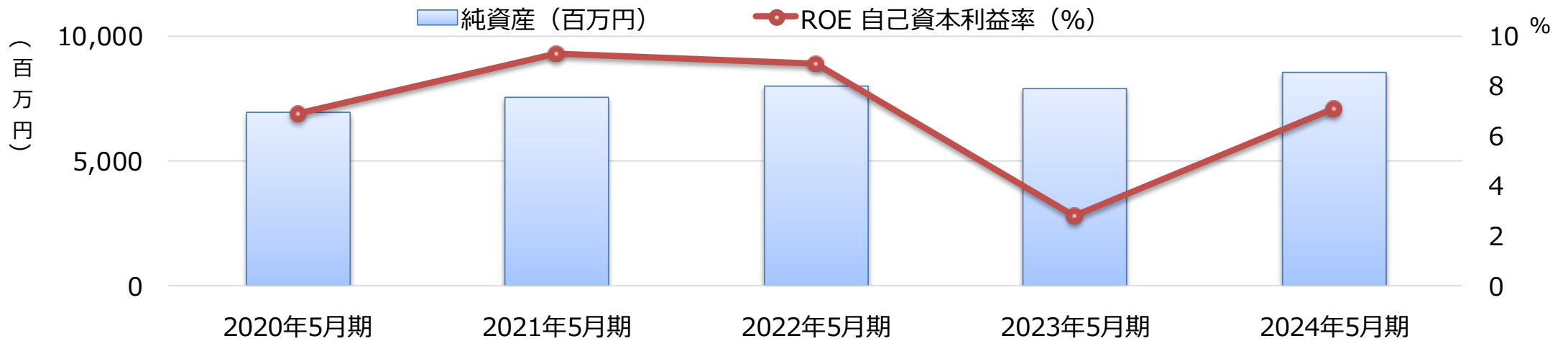
企業価値向上に向けた取り組み

- M&Aやパートナーシップ構築による収益性の向上
 - ヘルスケア分野の社会課題解決に資する投資
 - CGC推進による透明性・公平性の確保
 - 自己株式取得など機動的な資本政策
 - 株主・投資家との対話強化による経営改善
- この他、新中期経営計画の主要政策への取り組み



堅実な事業拡大を基本とし、収益性の維持・向上を図る

	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期
純資産（百万円）	6,938	7,579	8,005	7,924	8,556
ROE 自己資本利益率（%）	6.9	9.3	8.9	2.8	7.1

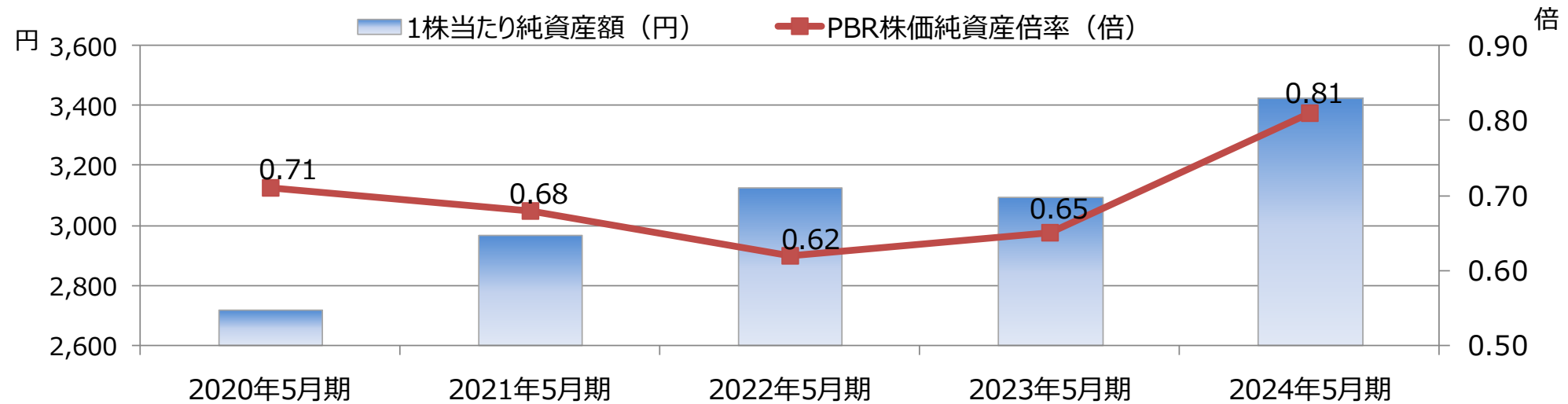




健全な資本構成を維持しながら株主価値の向上に努める

連結	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期
1株当たり純資産額（円）	2,717	2,969	3,126	3,097	3,429
PBR株価純資産倍率（倍）	0.71	0.68	0.62	0.65	0.81

※PBRは各年度末日株価で算出しております。

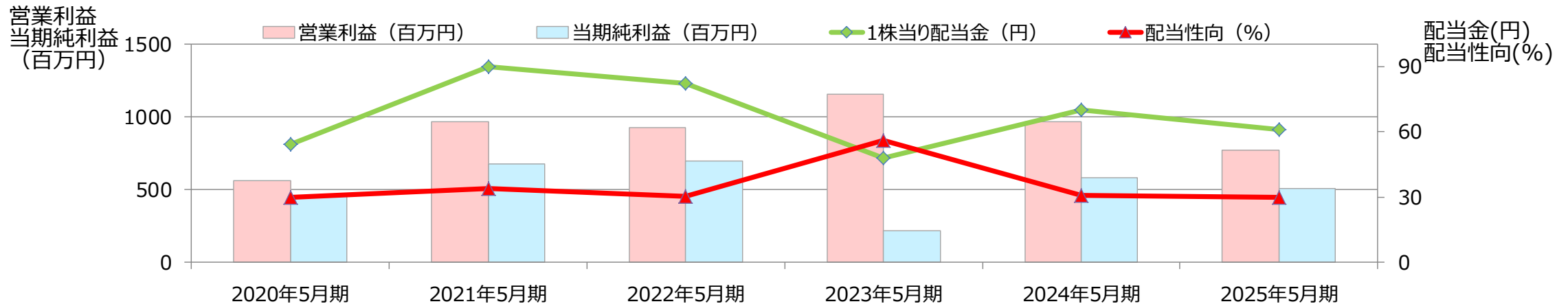




配当の安定性に配慮

配当性向	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期
1株当り配当金 (円)	54	90	82	48	70	61
営業利益 (百万円)	560	968	930	1,156	967	771
当期純利益 (百万円)	459	678	696	219	580	509
配当性向 (%)	30.0	33.9	30.1	55.9	30.7	30.0

↑ 予想数値





1. 2024年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
3. 決算概要
4. 新中期経営計画
- 5. 長期ビジョン**
6. 今期の見通し
7. 当社グループに関するご案内



当社グループは、不確実で先が読みにくい時代が続くものと認識し、サステナブルな成長を実現するため、2030年に向け当社グループのありたい姿を見据えた、長期ビジョンを策定しています。

私たちがありたい姿を掲げ、当社グループとして価値観を共有し、また組織力の向上を図ることを目的としています。

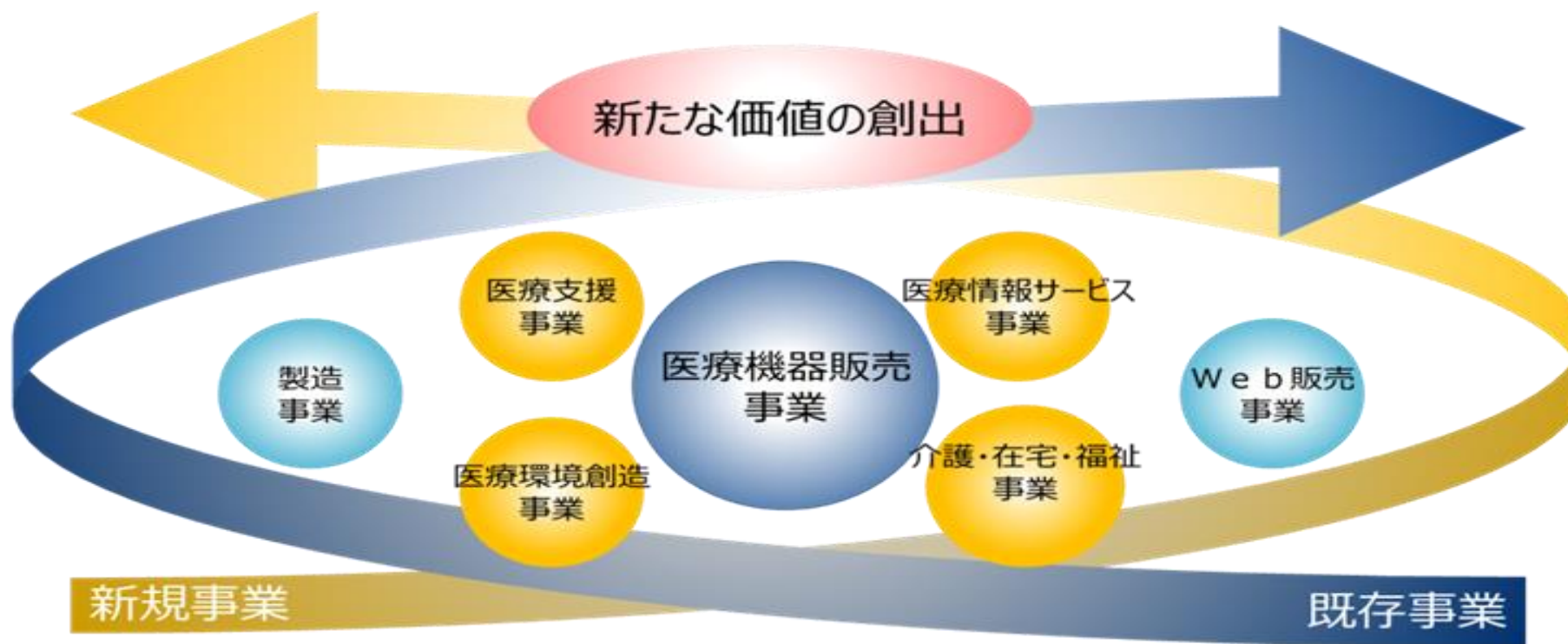


「マルチプライビジョン2030」

私たちは、持続的なヘルスケアサービスを提供し、予測困難な時代に対応するレジリエントカンパニーとして、サステナブルな社会に求められる新たな価値を創出し続け、中核事業と新規事業の掛け合わせ（マルチプライ）による加速度的な成長を目指します。

当社グループが目指す事業領域

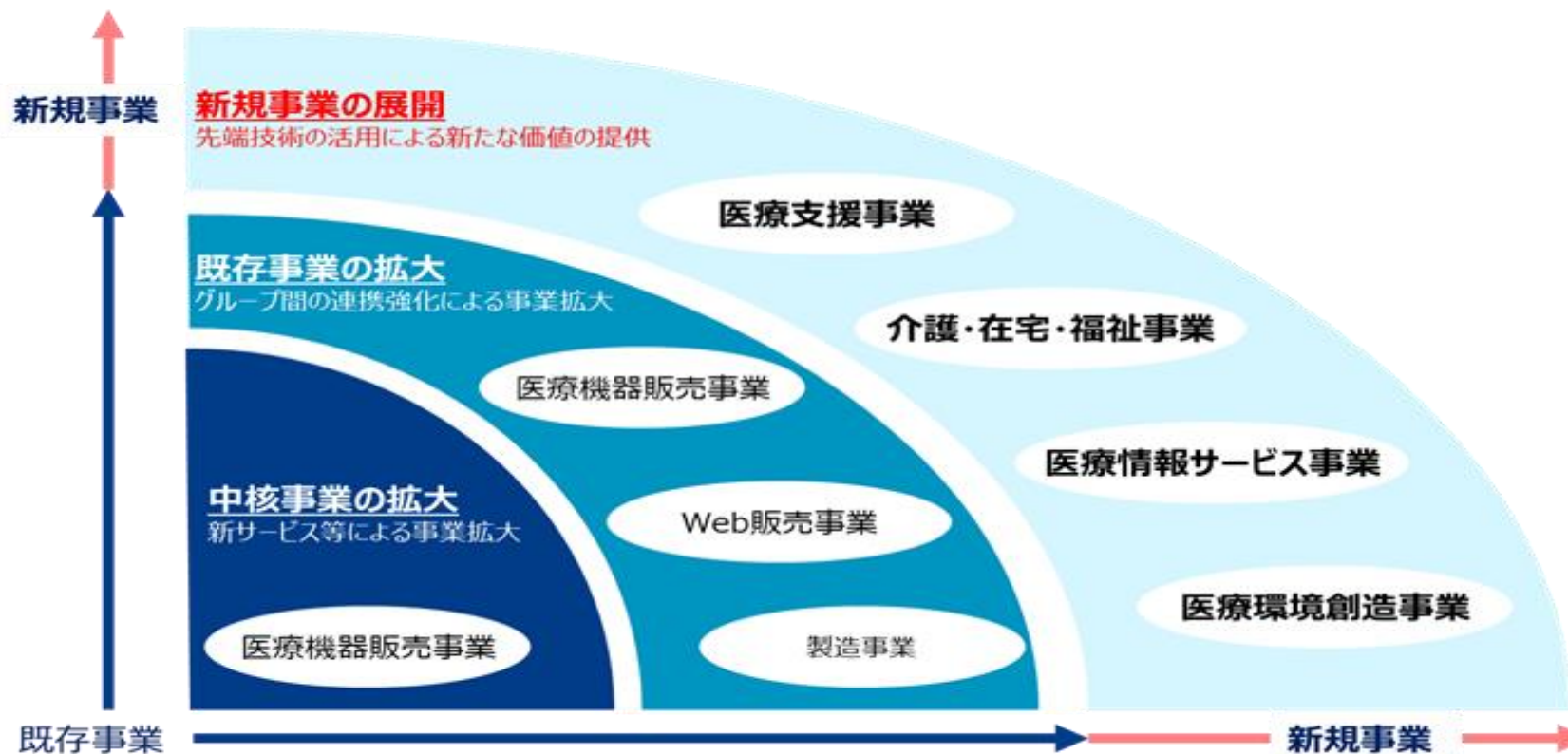
長期ビジョン『マルチプライビジョン2030』では、中核事業との親和性が高い事業の拡充を図り、企業価値の持続的な成長を目指します。





当社グループの成長戦略の骨子

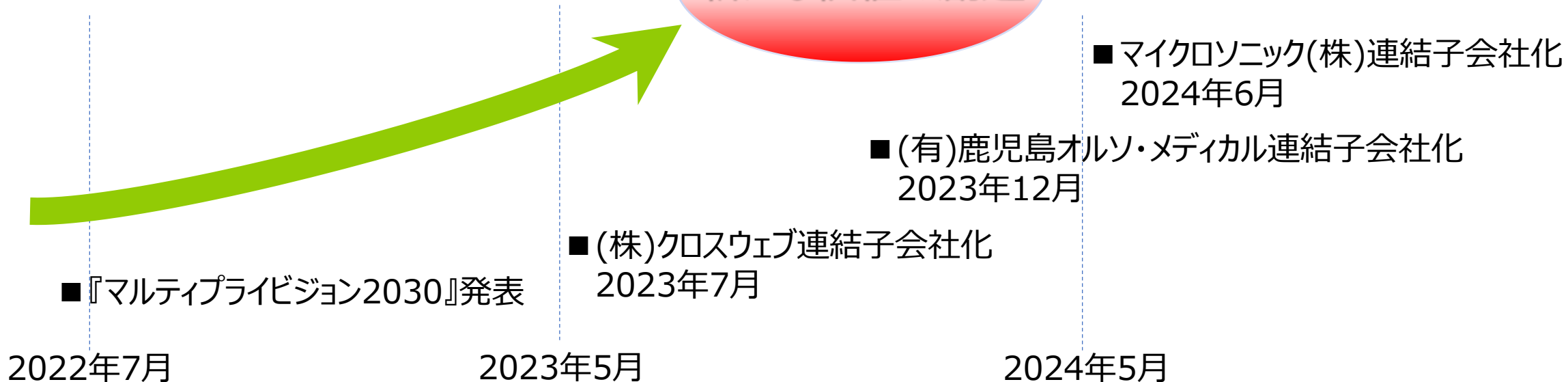
中核事業との連携を図りながら、新たな事業ポートフォリオの構築を通して、積極的な価値創出を目指します。



『マルチプライビジョン2030』進捗

既存事業と新規事業の掛け合わせによる加速度的な成長を図るため、同ビジョンに基づき以下のような取り組みを展開しています。

新たな価値の創造





1. 2024年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
3. 決算概要
4. 新中期経営計画
5. 長期ビジョン
- 6. 今期の見通し**
7. 当社グループに関するご案内



【2025年5月期 経営目標】

売上高 673億19百万円
営業利益 7億71百万円
経常利益 8億21百万円
親会社株主に帰属する当期純利益 5億9百万円
1株当たりの配当金 61円

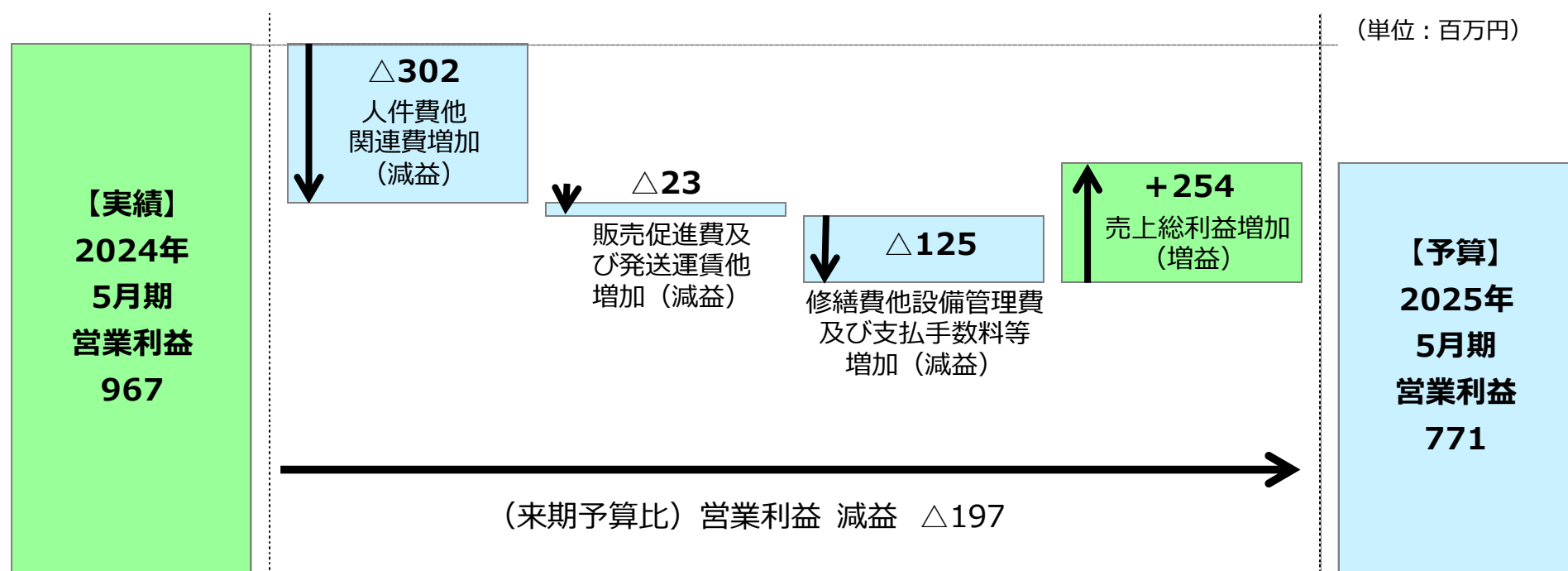
【今期の重点施策】

- (1) グループ人材採用の強化による各事業会社の人員体制充足
- (2) グループ間の連携や協業の活性化
- (3) 投資先の継続支援とM&Aによる事業領域拡充
- (4) ESG経営を踏まえた安定的な医療材料供給体制の検討
- (5) 内部統制とコンプライアンスの継続と深化
- (6) グループ管理意識向上と本社機能の拡充



➤ 前期からの増収減益要因

- 最も重要となる人的資本（教育訓練、採用費等）への積極的投資
- 安定供給を踏まえた物流事業への投資他、DXやITへの投資





今期目標達成のための重点施策

① グループ人材採用の強化による各事業会社の人員体制充足

- ・各事業会社の人材採用業務の集約と標準化の実行
- ・各事業会社の現状と人材要件を踏まえた効果的な採用活動の実行
- ・グループ間異動（出向・転籍など）を見据えた課題抽出と改善の実行
- ・グループ全社の教育・育成計画の立案と実行





今期目標達成のための重点施策

②グループ間の連携や協業の活性化

- ・各事業会社間の販売チャネル活用や商材共有の促進
- ・ホールディングスと各事業会社の連携強化による業務効率化の促進
- ・他社事例を踏まえた協業や業務提携先の検討



自然落下制御式輸液装置
「FLOWSIGN FS-03W」
（株）アイム製品



注射薬・医療材料認識システム
「iMRS」
（株）ソルブ製品



乳がん検査デバイス
「ブレストスキャン」
マイクロソニック（株）製品



今期目標達成のための重点施策

③投資先の継続支援とM&Aによる事業領域拡充

- ・ブレストスキャン（マイクロソニック社）開発の継続支援と上市までの具体化
- ・長期ビジョン（マルチプライビジョン2030）に準じたM&Aの継続
- ・将来性のある商材・サービスに対する積極的投資の継続

④ESG経営を踏まえた安定的な医療材料供給体制の検討

- ・物流構想プロジェクトを踏まえたグループ物流機能の検討
- ・グループBCM（事業継続マネジメント）体制の検討と構築
- ・各事業会社の情報セキュリティ意識の向上



今期目標達成のための重点施策

⑤ 内部統制とコンプライアンスの継続と深化

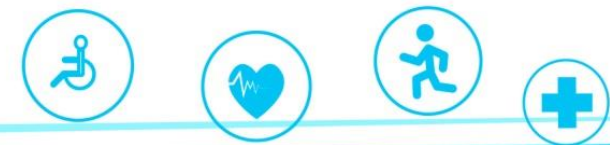
- ・事業会社に対する内部監査の強化
- ・グループ行動指針策定による共通価値観の浸透
- ・グループ全社への企業倫理・コンプライアンス意識の浸透

⑥ グループ管理意識向上と本社機能の拡充

- ・ホールディングス所属社員のグループ管理意識向上
- ・シェアードサービスの拡充と標準化（人事、採用、経理、財務、債権管理、総務）
- ・ホールディングス機能の見直しと拡充の検討

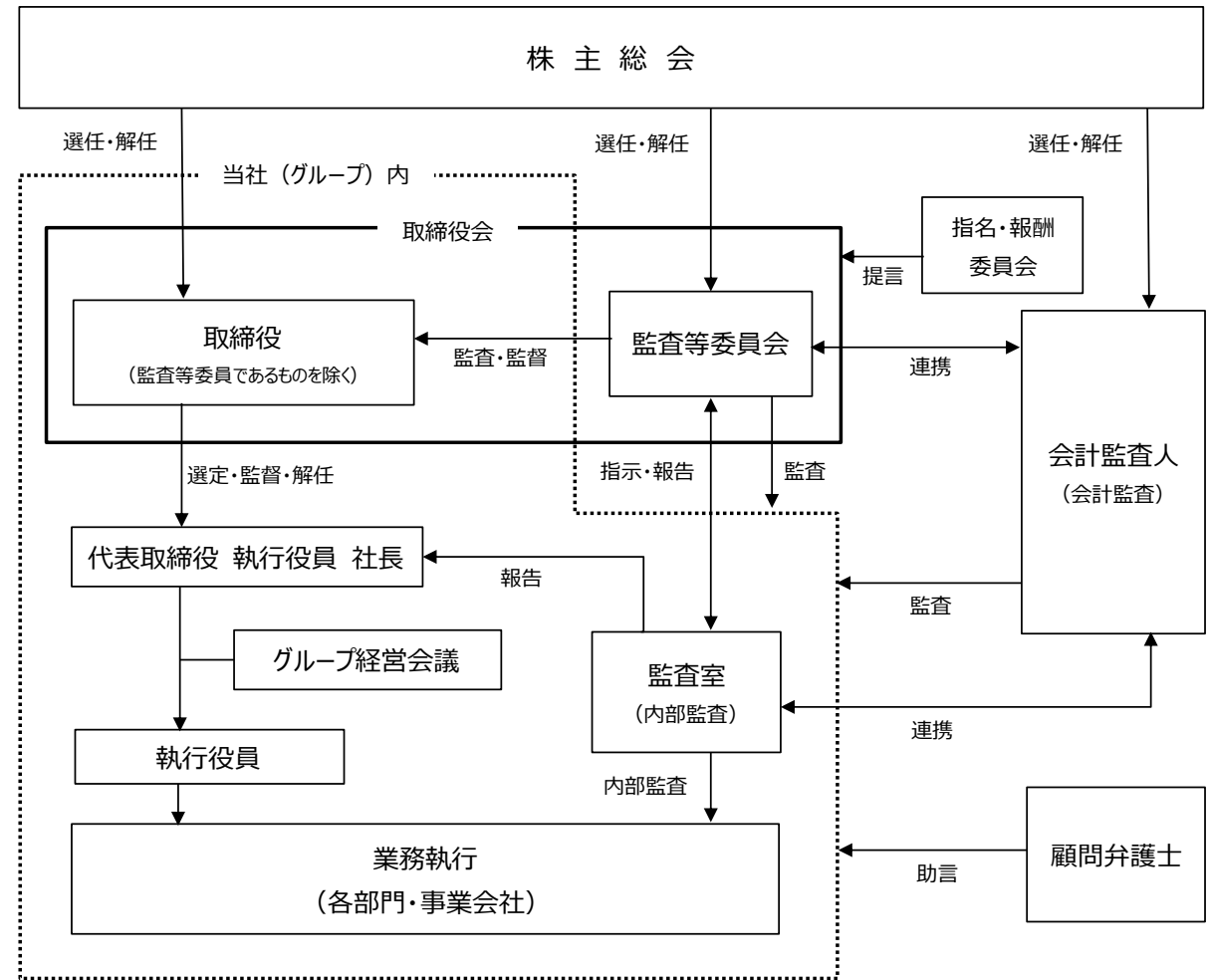


1. 2024年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
3. 決算概要
4. 新中期経営計画
5. 長期ビジョン
6. 今期の見通し
- 7. 当社グループに関するご案内**



コーポレートガバナンス体制

当社におけるコーポレート・ガバナンスは、企業価値の最大化に努め、株主利益の実現を図るとともに、企業倫理の向上に取り組めます。また執行役員制度を導入し、機動的な企業運営を行い、企業として健全な経営体制を構築しております。





自己株式の取得

当社では現在、自己株式の取得を進めております。これは、資本政策の柔軟性や機動性の確保、そして株主還元などを目的としております。

- (1) 取得対象株式の種類 : 当社普通株式
- (2) 取得し得る株式の総数 : 133,000株 (上限)
(発行済株式総数に対する割合5.2%)
- (3) 株式の取得価額の総額 : 350,000,000 円 (上限)
- (4) 取得方法 : 市場取引
- (5) 取得期間 : 2024年2月19日 ~ 2024年8月23日

東京証券取引所 市場取引にて当社株式の取得を進めており、引き続き当社サイト
他で取得状況をお知らせいたします



ESG経営への取り組み①



ESG基本方針を踏まえた当社の取り組み

当社グループの経営理念「地域のヘルスケアに貢献する」は、SDGsが目指す「誰ひとり取り残さない社会の実現」と強く結びついており、掲げるESG基本方針をもって、経営の推進やステークホルダー皆様に対する情報開示を行っております。当社グループのESG経営に関する方針とマテリアリティへの取り組み、および設定目標をご紹介します。

〔 Environment : 環境に対する取り組み 〕

当社グループは環境に対する方針で「CO2排出抑制」、そして「省エネルギー」を掲げ、地球温暖化の抑制やCO2排出量の削減に重点を置くなど、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。このため、当社グループでは「ガソリン・軽油の使用量削減」「電力使用量の削減」「省エネルギー車両への切り替え」について**対前年比減を重点目標に設定**し、2050年のゼロカーボンシティに貢献できるよう、引き続き取り組んでいます。



ESG経営への取り組み②



【Social : 社会に対する取り組み】

当社グループは、社会に対する方針で「価値創造に貢献できる高い専門性を持つ人材育成」「多様性のある人材活用」を掲げ、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。国内外において、健康や福祉、人権・貧困、都市と暮らし、ジェンダー平等や教育などさまざまな社会課題が顕在化しており、ヘルスケア領域を主軸に社会インフラを担っているという事業特性上、この課題は取り組まなければならないことであり、果たすべき役割も大きいものと考えます。

当社グループでは2027年5月期を最終年度とする中期経営計画では「人的資本経営の推進」を掲げ、**「人的資本」を中心とした積極的な成長投資のもと、共に働く人々にとって魅力ある組織**を目指します。



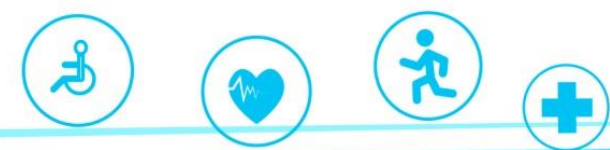
ESG経営への取り組み③



〔Governance：ガバナンスに対する取り組み〕

当社グループは、ガバナンスに対する方針で「コンプライアンス遵守」「高度な倫理性に根ざした事業活動」を掲げ、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。当社グループは、ヘルスケアを担う企業として、公的役割も担っているという事業特性上を認識した行動が求められています。

当社グループでは、「コンプライアンス遵守」「高度な倫理性」を重点課題として掲げ、役員および従業員が社会課題に取り組むことができるよう、**毎年度定期的に教育訓練や理解度向上に向けた活動を実施**しています。



『社会貢献債』へのESG投資

当社は、独立行政法人国際協力機構（以下JICA）が発行するソーシャルボンド（社会貢献債）※へ2021年6月に投資いたしました。このJICAが調達した資金は、JICAが実施機関となっている政府開発援助（ODA）の有償資金協力事業を通じて、開発途上地域の経済・社会の開発、日本および国際経済社会の健全な発展のために使用されるものです。

当社及び当社グループは、今後も本債券をはじめとする社会貢献債等へのESG投資や、その他事業活動を通じて、環境や社会問題への取り組みを支援し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※ソーシャルボンドとは、調達された資金が、基礎インフラ開発や社会サービスへのアクセス改善等、社会課題への対応を目的とした分野への、投融資に利用されることを前提として発行される債券です。



学校建設/PHOTO:JICA/Shinichi Kuno



井戸開発/PHOTO:JICA/Shinichi Kuno



女性活躍支援活動のご案内

『子宮頸がん予防セミナー』開催

当社では、女性がより活躍できる職場環境の創造に努めており、この女性活躍推進支援の一環として、当社グループ従業員に向けた社内セミナーを開催いたしました。がんやHPVワクチンの正しい理解を目的に、お取引病院の医師より分かりやすく説明いただきました。当日は、女性のみならず多くの男性社員も参加し、子宮頸がんに関する深い知識を修得しました。

『女性営業職座談会 通称：F会（Female会）』開催

当社グループの山下医科器械では、各事業所に在籍する女性営業職のみによる営業職座談会を開催しました。当日は、出席者による社外研修の成果発表の他、情報交換を目的とした交流会を行いました。当社の営業職における女性社員の割合はまだ低いものの、近年の活躍は目覚ましく、2024年4月には新入社員20名のうち女性営業職は7名と、存在感は年々増しています。既存の女性社員の意識向上と結束を高めることで、今後も女性営業職に活躍していただける会社ができるよう、このような取り組みを継続しています。



株主優待制度

〔対象となる株主様〕

毎年5月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された、1单元（100株）以上を保有する株主の皆様を対象に、年1回（株主総会後8月下旬）、株主優待を実施しております。

〔優待の内容〕

保有株式数および継続保有期間に応じて優待品を贈呈いたします。 （当社オリジナルクオカード）

保有株式 /保有期間	1年未満	1年以上3年未満 ※1,3	3年以上 ※2,3
100～999株	500円相当	1,000円相当	1,500円相当
1,000～1,999株	1,000円相当	2,000円相当	3,000円相当
2,000株以上	1,500円相当	3,000円相当	4,500円相当



- ※1. 継続保有期間の「1年以上」とは、毎年5月31日現在の株主名簿に、同一株主番号にて連続して2回以上記載または記録されることとします。
- ※2. 継続保有期間の「3年以上」とは、毎年5月31日現在の株主名簿に、同一株主番号にて連続して4回以上記載または記録されることとします。
- ※3. 1年以上継続保有された株主様へのクオカード贈呈額は、当年5月31日の保有株式数を基準といたします。

※証券会社の貸株サービスをご利用の株主様は、株主優待の対象から外れる場合がございますので、詳しくはご利用の証券会社にお尋ねください。

本資料は、当社の事業内容等につきご説明するために、現時点で入手できる情報に基づき、当社が作成したものです。今後の業績等については、様々な要因によって計画数値と異なる結果となる可能性があります。
投資を行う際には、投資家ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

お問い合わせ先

ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 経営企画室 総務課
T E L : 092-402-2922 F A X : 092-402-2962
E - M A I L : legal@yamashitaika.co.jp
U R L : <https://www.yhchd.co.jp/>



←**当社からのメールの配信を希望される方はこちら**

三菱UFJ信託銀行メール配信サービス RIMSNET よりご登録下さい。
登録後、当社が開示資料をホームページに掲載した場合、速やかに
ご案内が届きます。